

# 特定非営利活動法人日本火山学会 2017 年度秋季大会プログラム

主催：日本火山学会

後援：熊本国際観光コンベンション協会・公益財団法人阿蘇火山博物館・阿蘇ジオパーク推進協議会

期間：2017 年 9 月 21 日(木)～9 月 23 日(土) (学術講演会)

会場 熊本大学黒髪南キャンパス

連絡先・責任者：2017 年度秋季大会実行委員会 大倉敬宏委員長

E-mail: VSJ2017@aso.vgs.kyoto-u.ac.jp

## 【講演会場】

熊本大学黒髪南キャンパス

〒 860-8555 熊本市中央区黒髪 2 丁目 39-1 (TEL: 096-344-2111 代表)

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/campusjohou>

## ※交通

熊本市中心部 (交通センター・通町筋・水道町など) から産交バス・熊本電鉄バス楠団地・武蔵ヶ丘等方面行 (子飼橋経由) にて「熊本大学前」下車 (所要時間 10 ～ 20 分)。

阿蘇くまもと空港からは空港リムジンバス熊本駅行で「通町筋」下車 (所要時間約 40 分)、「水道町」から産交バス・熊本電鉄バスで楠団地・武蔵ヶ丘等方面行 (子飼橋経由) で「熊本大学前」下車 (所要時間約 10 分)。

現在、黒髪南キャンパスでは熊本地震による被害の復旧工事等が行われており、駐車スペースが不足しています。車の入構はご遠慮ください。

開催場所の詳細については、以下のサイトを参照してください。

<http://www.kumamoto-u.ac.jp/campusjohou>



※会場

A 会場：工学部百周年記念館

B 会場：工学部 2 号館 223 教室

ポスター会場：工学部 2 号館 211 教室, 212 教室, 214 教室

受付：工学部 2 号館 1 階ロビー

団体（企業）展示：工学部 2 号館 1 階ロビー

大会実行委員控え室：工学部 2 号館学習支援室



【懇親会】

日時：9月22日（金） 18:30-20:30

会場：熊本大学生協学生会館食堂

会費：会員：4,000 円, 学生会員：3,000 円

【口頭発表スケジュール】

		A 会場 (工学部百周年記念館)	B 会場 (工学部 2 号館 223 教室)
9 月 21 日 (木)	午後 (13:00 ~ 16:30)	沈み込み帯の火成活動とダイナミクス～ 60 周年特集号から探る現状と課題～ (公募)	火山防災と噴火履歴
	午後 (16:30 ~ 18:00)	学生優秀ポスター発表賞・審査タイム	
	午後 (18:00 ~ 19:00)	ポスターセッションコアタイム (工学部 2 号館 211 教室, 212 教室, 214 教室) 奇数番号 (P01,03,05 ~)	
9 月 22 日 (金)	午前 (8:30 ~ 12:00)	島弧火山への沈み込んだスラブの影響 (公募)	火山化学 地熱・表層地質
	午後 (13:00 ~ 14:30)	カルデラ火山と大規模火砕流噴火 (公募)	火山の地震・地下構造
	午後 (14:45 ~ 15:45)	ポスターセッションコアタイム (工学部 2 号館 211 教室, 212 教室, 214 教室) 偶数番号 (P02,04,06 ~)	
	午後 (16:00 ~ 17:00)	臨時総会 (A 会場)	
	午後 (17:00 ~ 18:00)	受賞記念講演 (A 会場)	
9 月 23 日 (土)	午前 (8:30 ~ 11:45)	噴火現象理解の現状と今後の火山噴火予測研究の方向性 (公募)	火山地質 マグマの蓄積と移動
	午後 (13:00 ~ 17:30)	阿蘇山の噴火活動 (公募)	噴煙・モニタリング

※一人あたりの講演時間は 15 分ですが、3 分は質疑応答時間として残すようにしてください。

※講演会場には液晶プロジェクタ 1 台、スクリーン 1 面があります。OHP やプロジェクタは用意できませんのでご注意ください。

【ポスター発表スケジュール】

- ・ポスター掲示時間：9 月 21 日 (木) 13:00 ~ 9 月 23 日 (土) 12:00  
工学部 2 号館 211 教室, 212 教室, 214 教室
- ・コアタイム：9 月 21 日 (木) 16:30-18:00 (学生優秀ポスター発表賞・審査タイム)  
9 月 21 日 (木) 18:00-19:00 (奇数番号 P01,P03,P05 ~)  
9 月 22 日 (金) 14:45-15:45 (偶数番号 P02,P04,P06 ~)
- ・パネルの大きさは、幅約 90cm × 高さ約 210cm です。
- ・電源の必要なパソコンやビデオの使用はできません。

【そのほかの行事・会合予定】

- ・9 月 24 日 (日) 13:00-15:30 熊本大学工学部百周年記念館  
公開講座「2016 年熊本地震と阿蘇山噴火」
- ・9 月 24 日 (日) 13:30-16:00 熊本大学工学部 2 号館 214 教室  
公開講座「親子で火山実験～マグマをつくろう！カルデラをつくろう！～」



9月21日(木) 午後

A 会場

沈み込み帯の火成活動とダイナミクス  
～ 60周年特集号から探る現状と課題～ (公募)

座長：鈴木雄治郎・中村仁美・入山 宙

13:00-13:15

A1-01 地下・地上現象の同時観測による噴火ダイナミクスの理解 ※小園誠史

13:15-13:30

A1-02 火山における地殻変動研究の最近の発展 ※青木陽介  
13:30-13:45

A1-03 火山の比抵抗構造研究の進展と課題 ※相澤広記  
13:45-14:00

A1-04 地球物理学的多項目観測から見た噴火過程 ※中道治久・青山 裕

14:00-14:15

A1-05 火山灰輸送モデルの現状と今後  
－ 2016年10月8日阿蘇山の降灰予測を例に－ ※新堀敏基

14:15-14:30

A1-06 観測と物理モデルに基づく噴火推移予測の可能性 ※小屋口剛博

14:30-14:45 休憩

14:45-15:00

A1-07 室内実験による火山現象の解明 ※並木敦子  
15:00-15:15

A1-08 噴火時のマグマプロセスを噴出物組織から探る手法 ※鈴木由希

15:15-15:30

A1-09 岩石学的にみた噴火準備過程と噴火開始条件 ※東宮昭彦

15:30-15:45

A1-10 大規模珪長質火砕噴火の準備過程 ※下司信夫  
15:45-16:00

A1-11 プレーートの沈み込み開始と火山弧創成モデル ※石塚 治

16:00-16:15

A1-12 島弧マグマと地殻形成 ※田村芳彦  
16:15-16:30

A1-13 火成活動－マンテル対流－全地球ダイナミクス ※岩森 光

B 会場

火山防災と噴火履歴

座長：津久井雅志・長井雅史

13:00-13:15

B1-01 桜島周辺地域における肺がんの標準化死亡比(SMR)と桜島火山からの降灰量との関係性に関する予察的検討 ※石峯康浩

13:15-13:30

B1-02 火山ハザードマップにおける火口位置の設定方法に関するレビュー ※岸本博志・佐々木寿

13:30-13:45

B1-03 降灰による水質への影響評価  
－富士山・宝永噴火規模の例－ ※佐々木寿・藤田浩司・成毛志乃・井坂俊英

13:45-14:00

B1-04 企業活動における火山防災の必要性の基礎的検討  
－地域の経済的な災害ポテンシャルに関する検討－ ※林 孝幸・矢代晴実

14:00-14:15

B1-05 桜島における火山活動情報の発信に関する実践 ※福島大輔

14:15-14:30

B1-06 スギ板屋根の重ね合わせによる耐噴石衝突特性の向上 ※山田浩之・立山耕平・畠基太雄  
奥矢 恵・吉本充宏

14:30-14:45 休憩

座長：石峯康浩・佐々木寿

14:45-15:00

B1-07 2014年御嶽山噴火災害の教訓：二度と犠牲をださな  
いために ※木股文昭

15:00-15:15

B1-08 史料による樽前山の火山活動再考 ※津久井雅志  
15:15-15:30

B1-09 浅間山小浅間火山観測井の岩石コア試料の層序と年代 ※長井雅史・高橋正樹・安井真也  
金丸龍夫・外西奈津美・中田節也

15:30-15:45

B1-10 浅間前掛火山「4世紀」大規模噴火の噴火推移 ※高橋正樹・安井真也・佐藤晃哉  
金丸龍夫・長井雅史

15:45-16:00

B1-11 九重山 54ka 大規模噴火による噴出物の層序および噴  
火パラメータの推定 ※辻 智大・岸本博志  
藤田浩司・三浦大助  
池田倫治・西坂直樹・大西耕造

16:00-16:15

B1-12 鳴子 - 荷坂テフラ (Nr-N) の分布・噴出量および噴火  
様式に関する再検討 ※田村雅宣・斎藤拓哉  
市川八洲夫・早田 勉

9月22日(金) 午前

A 会場

島弧火山への沈み込んだスラブの影響 (公募)  
座長: 川本竜彦・三好雅也

8:30-8:45

A2-01 西之島マグマへのスラブ影響 ※佐野貴司  
栗谷 豪・栗岩 薫・谷健一郎・中川光弘

8:45-9:00

A2-02 伊豆弧の背弧リフト形成に伴うスラブ表面温度の上昇  
※◎平井康裕・吉田尊智・岡村 聡  
田村芳彦・坂本 泉・新城竜一

9:00-9:15

A2-03 微量元素・同位体地球化学から読み解く富士火山マ  
グマの化学進化 ※◎原田智代・飯塚 毅  
浜田盛久・安田 敦・吉本充宏

9:15-9:30

A2-04 利尻火山・カルクアルカリ安山岩の苦鉄質端成分  
※◎谷内 元・栗谷 豪・中川光弘

9:30-9:45

A2-05 神鍋火山のアルカリ玄武岩マグマ含水量の推定 女亀  
山との比較 ※◎高橋 峻  
柵山徹也・木村純一

9:45-10:00

A2-06 High-resolution reconstruction of rhyolite magma storage  
and eruption at Havre volcano, Kermadec arc  
\*コンウェイ クリス・谷健一郎  
ウィスコザンスキリチャード

10:00-10:15 休憩

座長: 佐野貴司・長谷中利昭

10:15-10:30

A2-07 中部～東北日本火山弧の組成変遷と沈み込むスラブ  
の形状 \*中村仁美・岩森 光  
石塚 治・西澤達治

10:30-10:45

A2-08 沈み込み帯の火山岩中かんらん石斑晶およびマン  
トルかんらん岩のハログエン・希ガス組成から制約する  
水の沈み込み過程 \*角野浩史・小林真大  
Burgess Ray・Ballentine Chris

10:45-11:00

A2-09 Be 同位体比からみた東北日本弧火山のマグマ生成メ  
カニズムに関する一考 \*島岡晶子・今村峯雄  
兼岡一郎

B 会場

火山化学

座長: 大場 武・原口 悟

8:30-8:45

B2-01 火山噴煙中の二酸化炭素の  $\delta^{18}\text{O}$ ・水素分子の  $\delta\text{D}$  測  
定による噴気温度および火山ガス由来の水の  $\delta\text{D}$ ・  
 $\delta^{18}\text{O}$  推定の試み ※◎大野鷹士・森 俊哉  
鋤柄千穂・中川書子・角皆 潤  
篠原宏志・森田雅明

8:45-9:00

B2-02 火山流体中の水同位体組成中に発見された負の三酸  
素同位体異常とその原因 ※◎倉 和臣・角皆 潤  
中川書子・大場 武・篠原宏志

9:00-9:15

B2-03 熱水系卓越火山における土壌気体水銀放出率の測定  
※◎水谷紀章・寺田暁彦・野田徹郎

9:15-9:30

B2-04 パージ機能付ガスセンサーによる火山ガス連続観測  
の試み ※大場 武・大庭憲二・山本泰道  
森田博義・東出和総

9:30-9:45

B2-05 2014-2015 年における桜島火山ガスと大気粒子状物質  
の相関 坂本昌弥・\*木下紀正

9:45-10:00

B2-06 伊豆弧における苦鉄質、珪長質火成活動の地球化学  
的特徴の地域性 ※原口 悟・岩森 光  
モハマド美香・堀内俊介

B 会場

地熱・表層地質

座長: 熊谷英憲・池端 慶

10:15-10:30

B2-07 沖縄トラフ南部の熱水活動(予報)  
\*熊谷英憲・中村謙太郎・北田数也・宮崎淳一  
川口慎介・金子純二・高橋垂夕・松井洋平  
眞壁明子・渋谷岳造・高井 研

10:30-10:45

B2-08 御嶽火山 2014 年水蒸気噴火噴出物に含まれる APS 鉍  
物 ※◎井村 匠・大場 司・南 裕介・中川光弘

10:45-11:00

B2-09 硫黄島の地熱帯で 2016 年 10 月に発生した自然硫黄  
の溶融と燃焼 ※池端 慶・伊達みのり

- 11:00-11:15  
 A2-10 沈み込み帯深部における流体の化学的特徴の推定：  
 沈み込み帯の高圧変成岩に捕獲された流体包有物の  
 化学組成からの検討 ※福山蘭子・川本竜彦  
 小笠原正継
- 11:15-11:30  
 A2-11 瀬戸内火山岩類の高 Mg 安山岩の全岩微量元素組成  
 ※新正裕尚・折橋裕二・角井朝昭
- 11:30-11:45  
 A2-12 即発  $\gamma$  線法による火山岩中ホウ素分析の現状  
 ※福岡孝昭・佐野貴司・長谷中利昭  
 三好雅也・新正裕尚
- 11:45-12:00  
 総合討論

- 11:00-11:15  
 B2-10 岩手山南西山腹，網張温泉 245m 井の地質と断裂  
 ※杉本 健・赤塚貴史
- 11:15-11:30  
 B2-11 焼岳山頂火口の小型固定翼無人機による空撮実験  
 ※井上 公・大見士朗・杉田 暁・福井弘道
- 11:30-11:45  
 B2-12 低飛行高度高取得密度磁力探鉱データ解析  
 ※水谷滋樹

9 月 22 日 (金) 午後

### A 会場

カルデラ火山と大規模火砕流噴火 (公募)

座長：下司信夫・金子克哉

- 13:00-13:15  
 A2-13 阿蘇火砕流及び降下火砕物の層序 ※星住英夫  
 宮縁育夫・宮城磯治
- 13:15-13:30  
 A2-14 阿蘇 4 火砕流噴火前のマグマ供給系 ※宮城磯治  
 星住英夫・宮縁育夫
- 13:30-13:45  
 A2-15 阿蘇火山のマグマ生成過程と生成条件の時間的進化  
 ※金子克哉・小屋口剛博
- 13:45-14:00  
 A2-16 カルデラ陥没を起こすプリニー式噴火の特徴  
 : 大隅降下火砕物の例 ※山元孝広
- 14:00-14:15  
 A2-17 北海道東部，摩周火山で 7,600 年前に発生したカルデ  
 ラ形成噴火の推移 ※長谷川健・長谷川弘樹  
 小林哲夫・Gravley Darren
- 14:15-14:30  
 A2-18 浅水域カルデラ形成前駆噴火において発生する火砕  
 性密度流の特性：十和田火山・八戸火山灰の例  
 ※◎野中健太・宮本 毅

### B 会場

火山の地震・地下構造

座長：高橋浩晃・長岡 優

- 13:00-13:15  
 B2-13 2015 年 6 月の臨時観測によるストロンボリ火山の噴  
 火地震のメカニズム推定 ※◎杉村俊輔・西村太志  
 青山 裕・川口亮平・藤田英輔・三輪学央  
 山田 大志・Ripepe Maurizio・Genco Riccardo
- 13:15-13:30  
 B2-14 屈斜路カルデラ周辺の地温勾配分布 ※高橋浩晃  
 大園真子・岡崎紀俊・鈴木隆広・秋田藤夫
- 13:30-13:45  
 B2-15 広帯域 MT 探査による十勝岳の二次元比抵抗構造  
 ※田村 慎・高橋 良・岡崎紀俊・橋本武志  
 奥田真央・菅野倅太郎・早川美土里  
 橋本政樹・三嶋 涉
- 13:45-14:00  
 B2-16 地震波干渉法による霧島山の表面波速度構造の推定  
 ※長岡 優・西田 究・青木陽介・武尾 実  
 大倉敬宏・吉川 慎
- 14:00-14:15  
 B2-17 地震波干渉法を用いた 2015 年 8 月 15 日桜島のダイ  
 ク貫入に伴う地震波散乱特性の時空間変化イメー  
 ジング ※◎廣瀬 郁・中原 恒・西村太志
- 14:15-14:30  
 B2-18 火山活動評価手法の検討 (2) - 地震回数による調査 (続  
 報) 柴田要佑・◎岡田 純・松浦茂郎・長谷川安秀

---

臨時総会 (A 会場) 16:00-17:00

---

記念講演

座長：西村太志

17:00-17:30

S-01 地質学的アプローチによるマグマ上昇・貫入・噴火  
過程の研究 ※下司信夫

17:30-18:00

S-02 赤色立体地図ことはじめ ※千葉達朗

---

懇親会 (熊本大学生協学生会館食堂) 18:30-20:30

---

9月23日(土) 午前

---

A 会場

噴火現象理解の現状と今後の火山噴火予測研究の方向性  
(公募)

座長：大湊隆雄・宗包浩志

8:30-8:45

A3-01 噴火事象系統樹の課題 ※中田節也

8:45-9:00

A3-02 噴火シナリオの現状と課題 ※及川輝樹

9:00-9:15

A3-03 噴火事象イベントツリーの分岐判断条件の定量化に  
向けて—噴火・噴火未遂事象からの検討—  
※藤田英輔

9:15-9:30

A3-04 噴火堆積物にもとづく噴出量・噴出率推定手法の進  
展 ※前野 深・吉本充宏・中道治久

9:30-9:45

A3-05 非噴火時における多項目観測の重要性 (樽前山の事  
例) ※橋本武志・松本征海・青山 裕・小山 寛  
森井敦司・三嶋 渉・荻野 激  
高橋 良・岡崎紀俊

9:45-10:00

A3-06 温泉水成分の変化を用いた十勝岳の火山活動の評価  
※高橋 良・岡崎紀俊・田村 慎  
荻野 激・村山泰司

10:00-10:15 休憩

座長：藤田英輔・前野 深

10:15-10:30

A3-07 雌阿寒岳 2008 年噴火の前兆現象として観測された地  
磁気変動 ※高橋幸祐

B 会場

火山地質

座長：奥野 充・大場 司

8:30-8:45

B3-01 バリ島北部, プヤン-プラタンカルデラの完新世噴  
火活動 ※奥野 充・Harijoko Agung  
Warmada I Wayan・渡邊公一郎・中村俊夫  
田口幸洋・小林哲夫

8:45-9:00

B3-02 阿蘇火山高野尾羽根溶岩円頂丘で発見された古期地  
すべりの発生年代推定 ※木村 諤・酒井直樹  
田中義朗・長倉 賢・松谷和彦

9:00-9:15

B3-03 モンゴル国ウブスハンガイ県ハルグジット/ウストル  
ゴイ火山の地質 ※大場 司  
ムンフエルゲネ ナツァグドルジ  
星出隆志・井村 匠

9:15-9:30

B3-04 長崎県南島原市周辺の火山層序 玄武岩活動と南島原  
凝灰岩 (新称) との関係について  
※寺井 邦久・福田慶次郎・西山 忠男

9:30-9:45

B3-05 秋田県湯沢市, 川原毛地獄の爆裂火口と噴出物  
※鹿野和彦・大場 司・石山大三

9:45-10:00

B3-06 溶岩チューブ洞窟と溶岩樹型による富士山・須山胎  
内溶岩流の検討 ※本多 力・勝間田隆吉  
伊藤 裕・畑中 将

- 10:30-10:45  
 A3-08 時間依存逆解析による火山性地殻変動力源の逐次推定  
 ※宗包浩志・及川 純
- 10:45-11:00  
 A3-09 G-EVER 火山災害予測支援システムによる火山重力流と降下テフラのハザード評価 ※宝田晋治
- 11:00-11:15  
 A3-10 次世代火山研究推進事業 B2-1：可搬型レーダー干渉計と衛星搭載型合成開口レーダーによる精密地殻変動観測技術の開発 ※小澤 拓・青木陽介  
 宮城洋介
- 11:15-11:30  
 A3-11 位相シフト光パルス干渉法振動観測システムによる火山観測の試み ※平山義治・筒井智樹・池田敏晴  
 竹内敬二・安藤 浩
- 11:30-11:45  
 A3-12 無人航空機を用いた投下型プローブの火山島観測実験について ※白石浩章・白井 慶・石原吉明  
 早川雅彦・水野貴秀・後藤 健・尾崎正伸  
 山田和彦・田中 智・山田竜平  
 及川 純・村上英記

## B 会場

マグマの蓄積と移動  
 座長：石橋秀巳・柵山徹也

- 10:15-10:30  
 B3-07 白山火山における 1.9～2.4cal kBP のマグマ噴火ー岐阜県大倉山周辺にみられる降下火砕堆積物からの知見ー ※酒寄淳史・奥野 充・田島靖久  
 守屋以智雄
- 10:30-10:45  
 B3-08 富士火山, 2500 年前の S-18 サブプリニー式噴火のブレ噴火プロセス ※◎菅野拓矢・石橋秀巳  
 安田 敦・外西奈津美
- 10:45-11:00  
 B3-09 伊豆大島 1986 年 B 火口噴火のガブロ捕獲岩にみられる粒間メルト混合 ※石橋秀巳・種田凌也  
 千葉達朗・外西奈津美・安田 敦
- 11:00-11:15  
 B3-10 雲仙 1991-1995 年噴火の噴出物における集斑状斜長石の形成プロセス ※◎小西由利子・寅丸敦志
- 11:15-11:30  
 B3-11 富士火山, 焼野西丸尾溶岩流に捕獲された斑れい岩岩片 ※馬場 章・藤井敏嗣・吉本充宏・安田 敦  
 外西奈津美
- 11:30-11:45  
 B3-12 島弧火山のマグマ供給経路の構造と応力解析ーオマーン・オフィオライトの V2 島弧期の岩脈群を例として ※海野 進・草野有紀・山路 敦
- 11:45-12:00  
 B3-13 ボニナイトと前弧玄武岩のマグマ混合：IODP 第 352 次航海にて小笠原沖前弧域から採取された岩石試料の分析結果 ※柵山徹也・木村純一・高橋俊郎  
 田村芳彦・高澤栄一・吉田健太

9 月 23 日 (土) 午後

## A 会場

阿蘇山の噴火活動 (公募)  
 座長：宇津木充・寺田暁彦

- 13:00-13:15  
 A3-13 布田川断層帯の熊本地震活動域の端部に形成された阿蘇系火山 ※田島靖久・長谷中利昭・鳥井真之
- 13:15-13:30  
 A3-14 表層電気伝導度から示唆される阿蘇火山の活動様式と中部九州の活構造 ※鍵山恒臣・吉川 慎  
 宇津木充
- 13:30-13:45  
 A3-15 広帯域 MT 法探査によって得られた阿蘇カルデラの 3 次元比抵抗構造について ※松島喜雄・高倉伸一  
 畑 真紀・宇津木充・橋本武志・上嶋 誠

## B 会場

噴煙・モニタリング  
 座長：三輪学央・鬼澤真也

- 13:00-13:15  
 B3-14 Parsivel を用いた火山灰連続観測 ※井口正人  
 園田忠臣・竹中悠介・味喜大介
- 13:15-13:30  
 B3-15 気象レーダを用いた降下火砕物の落下速度の推定 ※◎小堀壮彦・真木雅之・福島誠治
- 13:30-13:45  
 B3-16 降灰観測のための X バンド MP レーダ反射因子の再解析 ※水落裕也・真木雅之・福島誠治
- 13:45-14:00  
 B3-17 自由落下実験から得られた火山灰粒子の空気力学的特徴 ※真木雅之

13:45-14:00

- A3-16 3次元電気比抵抗モデルによる阿蘇カルデラのマグマ活動解明に向けて(2) ※畑 真紀・松島喜雄  
高倉伸一・宇津木充・橋本武志・上嶋 聡

14:00-14:15

- A3-17 火口湖の形成と消滅の物理条件 - 阿蘇火山・湯だまりの観測に基づく火山活動評価 - ※寺田暁彦  
橋本武志

14:15-14:30

- A3-18 阿蘇中岳の火山ガス組成変化とマグマ-熱水系相互作用 ※篠原宏志・風早竜之介・下司信夫  
横尾亮彦・大倉敬宏・寺田暁彦

14:30-14:45 休憩

座長：山本 希・南 拓人

14:45-15:00

- A3-19 2016年熊本地震後の阿蘇山の地殻変動 ※矢来博司  
小林知勝・藤原 智・瀬川秀樹・川元智司

15:00-15:15

- A3-20 阿蘇火山2014-2016年の噴火活動について ※大倉敬宏・宇津木充・横尾亮彦・吉川 慎  
井上寛之・鎌山恒臣・山本 希・及川 純

15:15-15:30

- A3-21 ACTIVE観測を用いた2014年11月の阿蘇中岳マグマ噴火に伴う比抵抗構造変化の推定 ※南 拓人  
宇津木充

15:30-15:45

- A3-22 阿蘇火山2016年10月噴火に先行する土壤拡散CO<sub>2</sub>放出量変動 ※森田雅明・森 俊哉・横尾亮彦  
大倉敬宏・森田裕一

15:45-16:00

- A3-23 阿蘇山噴火でみられたモノトニック空振活動 ※横尾亮彦・石井杏佳・大倉敬宏・風間卓仁

16:00-16:15

- A3-24 地震計アレイ定常観測による阿蘇山連続微動の解析 ※山本 希・大倉敬宏・金嶋 聡

16:15-16:30 休憩

座長：宮縁育夫・横尾亮彦

16:30-16:45

- A3-25 阿蘇中岳の灰噴火火山灰はなぜ黒いか? ※◎当間智盛・中村美千彦・無盡真弓

16:45-17:00

- A3-26 2016年10月阿蘇山噴火における降灰被害調査について ※久保智弘・宮城洋介・野畑有秀・諏訪 仁

17:00-17:15

- A3-27 かんらん石に捕獲された阿蘇玄武岩質マグマの揮発性成分含有量 ※◎川口允孝・長谷中利昭  
安田 敦・外西奈津美・森 康

14:00-14:15

- B3-18 二重偏波レーザーによる火山噴煙の解析 -  $\rho_{hv}$  のノイズ補正 - ※佐藤英一・山内 洋・福井敬一  
新堀敏基・石井憲介・徳本哲男・真木雅之

14:15-14:30

- B3-19 鉛直1次元ソース一定モデルの開発と降下火砕堆積物への応用 ※入山 宙・寅丸敦志・山本哲生

14:30-14:45 休憩

座長：小林知勝・佐藤英一

14:45-15:00

- B3-20 ディープラーニングを用いた火山灰分類に関する試行分析 ※三輪学央・長井雅史・入山 宙・上田英樹

15:00-15:15

- B3-21 海域火山における変色水の色調を定量化する試み ※伊藤弘志・吉田友範

15:15-15:30

- B3-22 海洋気象観測船「啓風丸」で観測された西之島の噴火活動2017年5月 ※高木朗充・谷口無我  
新堀敏基・安藤 忍

15:30-15:45

- B3-23 伊豆大島火山における重力変化(2) —スケール補正およびフリーエア勾配の効果— ※鬼澤真也  
平山康夫・長岡 優・石原昂典  
川口亮平・高山博之・山本哲也

15:45-16:00

- B3-24 干渉SAR時系列解析で捉えられた2015年4月以前の箱根山・大涌谷における局所的膨張性地殻変動 ※小林知勝・森下 遊

16:00-16:15

- B3-25 雌阿寒岳・雄阿寒岳の最近の地殻変動 ※村上 亮  
白木友貴・成田翔平・鈴木敦夫・森 濟

## ポスターセッション

- ・ポスター掲示時間：9月21日（木）13:00～9月23日（土）12:00  
工学部2号館211教室, 212教室, 214教室
- ・学生優秀ポスター発表会・審査タイム：9月21日（木）16:30～18:00
  - ・ポスターコアタイム：9月21日（木）18:00-19:00（奇数番号）
  - ・ポスターコアタイム：9月22日（金）14:45-15:45（偶数番号）

P001	Aso-4/3 降下テフラの層序と全岩化学組成 ※星住英夫・宮縁育夫・宮城磯治	P017	阿蘇山の噴火警戒レベル判定基準 ※松末伸一 中村清隆・田中宏樹
P002	発泡組織から見た7.3ka 鬼界カルデラ噴火初期のブリニー式噴火 ※◎石塚昌也・前野 深・鈴木由希	P018	阿蘇中岳2014-2015年噴出物に含まれるリサイクル火山灰の特徴 ※大槻静香・下司信夫
P003	鬼界カルデラ7.3ka噴火、フェーズ3の本質物質の岩石学 ※◎池田 裕・前野 深・鈴木由希	P019	阿蘇・草千里ヶ浜火山のマグマだまりの温度圧力条件：鉱物・メルト含有物分析による推定
P004	鬼界アカホヤ噴火マグマ溜りの化学的特徴と温度・圧力条件：火砕流堆積物内スコリアを用いた推定 ※斎藤元治	P020	阿蘇火山・米塚溶岩における風穴の分布 ※平川泰之・宮縁育夫・園村道明
P005	箱根火山60ka カルデラ形成噴火の準備過程 ※◎辻原 諒・石橋秀巳・外西奈津美・安田 敦	P021	2016年熊本地震の斜面崩壊、災害緊急工事で表れた阿蘇火山噴出物の大規模な露頭 ※長谷中利昭
P006	摩周火山カルデラ形成期以降のマグマ供給系の変遷 ※和田恵治・中塚 裕・岡田侑也・佐藤鋭一	P022	鳥井真之・北園芳人・田島靖久・奥野 充
P007	阿蘇4火砕流堆積物と高遊原溶岩が重なる露頭 ※小林哲夫・星住英夫	P022	画像解析から読み取る2015年阿蘇山のストロンボリ式噴火における火山岩塊のダイナミクス ※常松佳恵・石井杏佳・横尾亮彦・風間卓仁
P008	北海道屈斜路カルデラ中島火山の噴火史 ※後藤芳彦・和田恵治	P023	伊豆大島における火山ガス、温泉水のヘリウム同位体比の時空間変化 ※角野浩史・川名華織
P009	栃木県、高原火山におけるカルデラ形成期の火砕堆積物の層序と年代 ※◎西野佑紀・長谷川健 藤縄明彦・菊地瑛彦	P024	山根康平・森 俊哉・清水 綾 野津憲治・Hernandez Pedro
P010	阿多火砕流堆積物中の火砕サージ堆積物（予察） ※◎里和玲伊・鹿野和彦	P024	マグマ溜り内の気泡上昇による地殻変動(2)ー伊豆大島の周期的地殻変動との比較ー ※川口亮平
P011	UAVによる阿蘇中岳2016年噴火による地形変化の計測 ※千葉達朗・佐々木寿・荒井健一 佐野実可子	P025	斑晶の元素拡散モデリングに基づく噴火準備タイムスケール研究の現状 ※◎菅野拓矢・石橋秀巳
P012	阿蘇カルデラ全域での広帯域地震記録の特徴 ※山田大志・上田英樹	P026	火山観測データの流通・共有の仕組み構築 ※上田英樹・山田大志・松澤孝紀・三輪学央 長井雅史
P013	阿蘇山の2013年以降の火山活動 ※五藤大仁 通山尚史	P027	空中マイクロ波送電技術を用いた火山観測・監視装置の開発 ※松島 健・清水 洋・藤原暉雄 篠原真毅・井口正人
P014	3次元比抵抗構造から推定される阿蘇中岳火口浅部の熱水系(2) ※神田 径・宇津木充・高倉伸一 井上寛之	P028	超小型紫外分光装置と無人航空機による二酸化硫黄放出率測定 ※森 俊哉・大野鷹士
P015	電磁気学データから見た阿蘇火山2014年噴火及びそれ以降の火山活動について ※宇津木充	P029	次世代火山研究推進事業 B2-2：火山表面現象遠隔観測技術の開発 ※實淵哲也・三輪学央・長井雅史
P016	阿蘇火山ストロンボリ式噴火の空振シグナルの時間変動 ※◎石井杏佳・横尾亮彦・鍵山恒臣 大倉敬宏・吉川 慎・井上寛之	P030	火山災害対策のための火山周辺自治体へのヒアリング調査 ※宮城洋介・久保智弘・中田節也 吉本充宏

- P031 秋田駒ヶ岳における玄武岩質マグマの含水量推定  
※◎金井千鶴子・栗谷豪・山下 茂・中川光弘
- P032 北部フォッサマグナ周辺のマントル物質の改変起源  
マントルとスラブ溶融成分変化の証拠 ※岡村 聡  
稲葉 充・新城竜一
- P033 Geological, petrological and geochemical framework of  
Miravalles-Guayabo caldera, NW Costa Rica  
\* Cigolini Corrado・Alvarado Guillermo E.
- P034 スンダ弧中央部横断方向で見たスラブ起源流体の痕  
跡：堆積物と変質海洋地殻が島弧下マントルに与え  
る影響の深度変化 ハンディニ エスティ  
※長谷中利昭・ハリジョコ アゲン  
柴田知之・森 康
- P035 ピナツボ火山 1991 年噴出物のマントル捕獲岩に含ま  
れる塩水包有物のナトリウムとカリウムの比  
※川本竜彦・木村純一・常 青・芳川雅子  
奥野 充・小林哲夫
- P036 小型軽量ポータブル地震観測テレメータ装置の開発  
※堀川信一郎・奥田 隆・前田裕太・寺川寿子  
山中佳子・荻原宏之・柏瀬和信・山口充孝  
五十嵐竜也・木村高志
- P037 ALOS-2/PALSAR-2 解析による西之島 2017 年 4 月の  
噴火活動 ※安藤 忍・及川輝樹・奥山 哲  
福井敬一
- P038 精密重力観測による十勝岳 62- 輪火口付近の重力変  
化 ※岡崎紀俊・高橋 良・高橋浩晃・大園真子  
一柳昌義・山口照寛・岡田和見・本多 亮  
高木朗充
- P039 霧島硫黄山における 2016 年 12 月以降の火山活動の  
推移 ※森 健彦・赤徳大河・谷口無我  
大場 武・鹿児島地方気象台・福岡管区気象台
- P040 伊豆大島の地殻変動とその周辺の地震活動の比較、  
その 2 ※高山博之・山本哲也・鬼澤真也
- P041 九州の火山における気象庁の速度構造 ※菅井 明  
長山泰淳・通山尚史・末次秀規・森 健彦
- P042 十勝岳の火口近傍観測 ※青山 裕
- P043 焼岳火山の研究監視観測網の現状 ※大見士朗  
井口正人・飯尾能久
- P044 ストロンボリ火山の山腹噴火前のキツツキ地震活動  
(2) ※◎近藤 弦・青山 裕・西村太志  
川口亮平・山田大志・三輪学央・藤田英輔  
Ripepe Maurizio・Genco Riccardo
- P045 高周波地震波振幅を用いた震源決定法の適用条件  
タール火山における 平均自由行程・非弾性減衰と S  
波等方輻射の関係性 ※◎新納美穂・熊谷博之
- P046 地殻変動と同時期にみられた十勝岳・雌阿寒岳の地  
震波速度変化 ※◎小野夏生・青山 裕
- P047 噴火微動の高周波地震波の振幅に基づく噴煙高度予  
測式横風の影響の評価 ※◎森亜津紗・熊谷博之
- P048 2015 年箱根火山活動に伴う圧力源の時間変化  
※原田昌武・道家涼介・板寺一洋・里村幹夫
- P049 PALSAR-2 により検出された雌阿寒岳周辺での最近  
の地殻変動 ※奥山哲・宮本聖史・高橋浩晃  
宮城洋介・青山 裕・大園真子・岡崎紀俊  
秋田藤夫・齋藤公一滝・安藤 忍
- P050 火山監視用傾斜計に現れる融雪の影響  
※宮村淳一・木村一洋・中橋正樹・河島克久  
松元高峰・伊豫部勉・佐々木明彦
- P051 2014 年及び 2015 年口永良部島火山噴火の前後の水  
準測量結果 ※山本圭吾・大倉敬宏・横尾亮彦  
為栗 健・園田忠臣・井上寛之
- P052 GNSS 観測による伊豆大島の長期的上下変動の精査  
※山本哲也・高山博之・鬼澤真也・高木朗充
- P053 吾妻山における GNSS データの統合解析 (2013-2015  
年) ※岡田 純
- P054 箱根の火山活動に伴う傾斜変動の再解析  
※本多 亮・行竹洋平・板寺一洋  
森田裕一・酒井慎一
- P055 北海道東部阿寒火山地域における GNSS 統合解析  
※大園真子・高橋浩晃・村上 亮・奥山 哲  
岡崎紀俊・田村 慎・秋田藤夫
- P056 2015 年水蒸気噴火時の地表面変位から推定される箱  
根火山浅部の熱水系 ※道家涼介・原田昌武  
萬年一剛・板寺一洋・竹中 潤
- P057 ALOS-2 SAR が捉えた雌阿寒岳から雄阿寒岳での地  
殻変動 ※藤原 智・小林知勝・攪上泰亮  
本田昌樹・森下 遊・矢来博司
- P058 2017 年 3 月 25 日桜島南岳噴火に前後する傾斜ひずみ  
変化 ※堀田耕平・井口正人
- P059 海底電位磁力計が捉えた西之島火山下のマグマ上昇  
を示唆する二つの独立シグナル ※馬場聖至  
小山崇夫・武尾 実・多田訓子・浜野洋三  
杉岡裕子・市原 寛・高木朗充
- P060 氷帽下火山のダイク貫入イベントに伴う地殻変動の  
検出とモデルの構築：2014-2015 年 Bardarbunga 火山  
※◎姫松裕志・古屋正人
- P061 AMT 観測による那須茶臼岳における 3 次元比抵抗構  
造の推定 ※◎木下貴裕・神田 径・高倉伸一  
関 香織・松永康生・木下雄介・相澤広記
- P062 地球潮汐を用いた、伊豆大島浅部構造における地震  
波速度変化の歪み感度の推定—小地震計アレイで記  
録された雑微動の相関解析— ※◎高野智也  
西村太志・中原 恒・上田英樹・藤田英輔
- P063 2011 年新燃岳噴火後の磁場変化からみる火口内冷却  
過程 ※小山崇夫・金子隆之・大湊隆雄・渡邊篤志  
武尾 実・柳澤孝寿・市原 寛・本多嘉明
- P064 桜島火山噴火前後の地震波伝播特性変化の 1 次散乱  
による解釈 ※前田裕太・山岡耕春・渡辺俊樹  
國友孝洋・宮町宏樹・八木原寛  
井口正人・為栗 健
- P065 VLF-MT による台湾北部・大屯火山群の表層比抵抗  
分布 (最終報) ※小森省吾・宇津木充・鍵山恒臣  
吉川 慎・陳 中華・趙 丰

- P066 雌阿寒岳ナカマチネシリ火口の地磁気全磁力変化 (2013-2017) ※田中 良・橋本武志・鈴木敦生  
小野夏生・成田翔平・佐藤彰紀
- P067 火山観測データ表示ソフトウェアについて ※松本 聡・市原美恵・飯野正寛
- P068 桜島火山の火山灰モニタリングにおける測色値と粒径の関係 ※嶋野岳人・安田 敦・井口正人
- P069 室内実験及び Stromboli 空振観測の MUSIC 法による小規模アレイ解析 ※◎山河和也・石井杏佳  
市原美恵・青山 裕・西村太志
- P070 火山ガス移流拡散シミュレーションにおける解像度依存性 ※橋本明弘・福井敬一・高木朗充
- P071 可視映像解析による桜島昭和火口におけるブルカノ式噴火の衝撃波及び噴煙の時間関係 ※◎村松 弾  
相澤広記・横尾亮彦・井口正人・為栗 健
- P072 噴煙の曲がりを考慮したシミュレーションによる新燃岳 2011 年噴火の噴煙 ※萬年一剛・清杉孝司  
宮縁育夫・長谷中利昭・樋口篤志
- P073 ひまわり 8 号による火山観測システムの開発 ※金子隆之・安田 敦・高崎健二
- P074 霧島・硫黄山付近に湧出する湧水等の時系列変化 ※伊藤英之・辻 盛生・井村隆介
- P075 火山噴火時の警戒区域における無人調査手法の開発 一降雨型泥流の発生予測を目的とした調査デバイス ※金崎裕之・森山裕二・島田 徹・手束宗弘  
永田直己・皆川 淳・金井啓通・永谷圭司  
永島諒丞・伊豆智幸
- P076 「活火山における退避壕等の充実に向けた手引き」公表後の退避壕等の整備状況 ※成毛志乃・佐々木寿・山田浩之
- P077 箱根火山 2015 年噴火前後の大涌谷周辺の植物への影響 ※山口珠美
- P078 火山灰の電気抵抗を変化させる要因 ※西金佑一郎  
浦越拓野・石坂岳士・川越 健
- P079 子ども向けの火砕流・火山泥流実験 ～その 2～ ※横山 光
- P080 UAV 空撮による小規模土砂移動の観測 - 富士山噴火の噴出物調査への応用にむけて - ※吉本充宏  
安田泰輔・馬場 章・本多 亮
- P081 完新世における栗駒火山の噴火の推移と噴出物の起源 ※◎伊藤啓太・大場 司
- P082 西岩手火山、後カルデラ期の噴出物層序の再検討気象庁観測点整備ボーリングコア (JMA-V112) 解析に基づく金沢火砕流の再評価 ※伊藤順一・長井雅史
- P083 セントヘレンズ火山：1980 年山体崩壊の影響を受けた領域の現況 ※宇井忠英
- P084 草津白根火山の完新世噴火履歴 ※◎亀谷伸子  
石崎泰男・吉本充宏・寺田暁彦
- P085 草津白根山二軒屋及び谷沢原火山観測井の岩石コア試料の岩相と層序 ※長井雅史・上木賢太  
寺田暁彦・外西奈津美・乾 睦子・野上健治
- P086 伽藍岳における最近約 2200 年間の類質テフラ層序 ※筒井正明・藤沢康弘・奥野 充・小林哲夫
- P087 伊豆諸島新島西暦 886 年向山噴火の活動推移と外來水の影響 ※中岡礼奈・鈴木桂子
- P088 14 万年前以降の白山火山群の形成史 ※◎藤原 寛  
石崎泰男・中野 俊・山崎誠子
- P089 日光白根火山 1649 年噴火の再検討 ※草野有紀・石塚吉浩
- P090 粒度組成から見た富士火山大室山の噴火の推移 ※◎鈴木皇暉・石崎泰男・吉本充宏・馬場 章
- P091 雲仙火山眉山周辺の縄文期噴火に伴う倒木痕と火砕サージ堆積物 ※長井大輔
- P092 降灰休止期を挟む広域テフラ層猪牟田ピンクテフラ層での例 ※佐藤隆春・森山義博・石井陽子  
小西哲夫・坂本隆彦・竹内靖夫・濱塚 博  
別所孝範・山本陸徳
- P093 SO255 航海：ケルマディック弧 Kibblewhite 海山から採取された火山岩 ※平井康裕・田村芳彦  
Hoernle Kaj・Werner Reinhard・Hauff Folkmar  
Timm Christian
- P094 西之島近海の海底から採取されたガラス質の火砕物について ※安田 敦・前野 深・中田節也  
外西奈津美・馬場聖至・武尾 実・高木朗充
- P095 蔵王火山、熊野岳山頂溶岩および馬の背溶岩における層序とマグマ供給系の解明 ※◎伊藤直人・伴 雅雄
- P096 福島県南部、鎌房山における火砕堆積物のマグマ供給系 ※◎関根大輔・長谷川健・藤縄明彦
- P097 伊豆小笠原弧明神礁 1952-53 年噴出物の岩石学 ※◎齋藤豪悠・鈴木由希・嶋野岳人
- P098 斜長石斑晶の化学的組織的特徴が示す富士火山のマグマ供給系の異方性 ※◎井上智未・石橋秀巳  
外西奈津美・安田 敦
- P099 火山岩の固相密度と全岩 SiO<sub>2</sub> 量に関する経験的関係 ※竹内晋吾
- P100 蔵王火山五色岳形成開始前後のマグマ溜まりの構造について ※◎西 勇樹・伴 雅雄・及川輝樹  
山崎誠子
- P101 北海道東部武佐岳地熱地域 火山岩類の岩石学的特徴と化学組成 ※野中美雪
- P102 高温高压実験に基づく Aso-4 珪長質マグマ溜まりの条件 ※潮田雅司・宮城磯治・鈴木敏弘・星住英夫  
高橋栄一・横山哲也
- P103 インドネシア・シナブン火山 2014-2015 年噴火の火山灰の石基マイクロライト組織 ※◎久保田聡士  
鈴木由希・中田節也
- P104 新燃岳享保噴火 (1716-1717) の岩石学 ※◎坂井剛善・鈴木由希
- P105 白山火山、最新期噴火のマグマプロセス ※茨木柚季・海野 進

- P106 伊豆半島, カワゴ平火山における噴火の準備過程: 溶岩流中の角閃石斑晶からの制約 ※◎諏訪由起子 石橋秀巳・外西奈津美・安田 敦
- P107 シリケートメルト中の元素移動: メルト包有物組成解析の基礎 ※眞島英壽
- P108 流動から破壊に至る過渡的なマグマの挙動を表現するレオロジーモデルの考察 ※市原美恵
- P109 カムチャツカ半島南部, 黒曜石溶岩の内部構造と形成過程 ※佐藤鋭一・佐野恭平・出穂雅実 グレベニコフ アンドレイ・和田恵治
- P110 溶岩流地形を用いたマグマ噴出時の粘性率の推定(2) ※◎岡崎健人・鍵山恒臣
- P111 気象庁火山観測点ボーリングコアを用いた熱物性値測定 ※田中明子・後藤秀作・山野 誠
- P112 減圧過程における玄武岩質マグマの粘性率変化: 等温過程 vs. 断熱過程 ※石橋秀巳
- P113 応力場の変化に伴うダイクの成長に関する予備的実験 ※◎湯浅梨奈・並木敦子
- P114 膨張と合体を考慮した気泡サイズ分布時間発展の数学的な取り扱い ※◎大橋正俊・市原美恵・寅丸敦志
- P115 噴火の周期性解明に向けたアナログ実験の数理構造検討 ※◎菅野 洋・市原美恵
- P116 火山灰サスペンションのレオロジーから探るラハールの特徴 ※黒川愛香・石橋秀巳・三輪学央 七山 太
- P117 火星の Arsia Mons の縦穴における溶岩チューブ洞窟の存在可能性 ※本多 力
- P118 フィリピン・タール火山の噴気組成から推測される最近の火山活動 大場 武・沼波 望・笹井洋一 Barairo M. C. L.・Alanis P.・楠本成寿・長尾年恭
- P119 西之島周辺海域の海水組成成分分布とその特徴 ※佐藤 泉・小野智三・福山一郎・吉岡真一 渡辺義和・横田裕輔・高橋日登美・野上健治
- P120 雌阿寒岳の土壤二酸化炭素放出率測定 ※◎佐藤彰紀・橋本武志・田中 良・成田翔平 小野夏生・森 俊哉
- P121 焼岳火山の噴気ガス・火口湖水の化学組成 ※◎澤村 俊・齋藤武士・田村理納・関 晋 網田和宏・三島壮智・大沢信二
- P122 箱根山大涌谷の蒸気井および自然噴気孔の火山ガス組成 ※代田 寧・十河孝夫・秀平敦子・本間直樹 濱田紀之・大場 武
- P123 箱根山の火山ガス組成の時間変化と火山活動の関係性 ※西野佳奈・大場 武・館翔太郎・谷口無我
- P124 気象研究所の地球化学的手法を用いた火山観測の取り組み ※谷口無我・高木朗充・福井敬一 大場 武
- P125 霧島硫黄山の低温噴気活動と湧水組成 ※木川田喜一・Deng Wei・関 海洲・深井 恵
- P126 中部沖縄トラフ伊平屋北海丘熱水域に産する熱水変質鉱物の地球化学的研究 ※池端 慶・服部浩一 黒澤正紀・小室光世・笹 公和・石井 聡 三好陽子・島田和彦・戸塚修平・石橋純一郎
- P127 気象庁遠望観測データから推定した火山ガス(H<sub>2</sub>O)放出率 ※福井敬一
- P128 箱根火山大涌谷における二酸化硫黄放出率の測定 ※安部祐希・原田昌武・板寺一洋・森 健彦 高木朗充・長岡 優
- P129 蔵王山現地調査報告(2012-2017) ※後藤章夫 土屋範芳・平野伸夫・松中哲也・久利美和
- P130 準リアルタイム火山防災情報表示システムの開発 ※大島弘光・宮村淳一・棚田俊收
- P131 土石流・泥流災害における人為効果の再点検~雲仙1991, 1993年土石流・伊豆大島2013年泥流を例に~ ※大島 治
- P132 頻発する噴火や地震が告げる予測と対策の緊急性 ※中村真人
- P133 阿蘇火山中央火口丘群北麓における降下火山碎屑物の層厚分布・力学特性 ※後藤 聡・木村 諤 佐藤 剛・檜垣大助・若井明彦 土志田正二・林信太郎